

# 史 70 村 り 納 さ 編 だ 恩

## 恩納村産業まつりのあゆみ

2019年3月号の編さん室  
だよりでは、恩納村史産業編の  
関わりとして恩納村の特産品の  
一部をご紹介します。今回は  
この特産品を扱う産業まつりの  
歴史を振り返ってみたいと思います。

恩納村産業まつりは「恩納村の農林水産業や観  
光といった村内の産業の発展に寄与し、内外にア  
ピールすること」を主な目的とし、毎年たくさん  
の恩納村の農産物や加工品が集められ、展示、販  
売されています。

第1回目は  
1999（平  
成11）年2月  
13、14日に開  
催されまし  
た。もともと  
恩納村では1  
993（平成  
5）年から恩  
納村地域振興  
推進協議会  
（農振協）主  
催で、恩納村  
産業まつりの  
前身である  
「うんな農業



まつり」を開催していました。さらに恩納村の産  
業を村内外へ広めるため、新たに恩納村産業まつ  
り実行委員会を組織し、うんな農業まつりを発展  
させて「恩納村産業まつり」として再スタートし  
ました。

2002（平成14）年の第5回からは生産物の  
品評会審査が行われるようになりました。野菜の  
部、熱帯果樹の部、花きの部、水産の部など部門  
ごとに生産物の出来を競います。さらに2007  
（平成19）年の第10回からはジュースやお菓子な  
ど生産物を利用した特産品加工コンテストも始ま  
りました。

2004（平成16）年の第7回には、それまで  
のコミュニティセンターから移動し、前年に落  
成したおんなの駅で開催されました。場所の変更  
にも関わらず、前年を上回る4500人の来場が  
あったそうです。

2013（平成25）年から再び場所を変更し、  
現在は恩納村ふれあい体験学習センターで開催さ  
れるようになりました。

産業まつりでは村内生産物の展示即売のほか、  
ステージでのライブや琉球芸能公演、友好市町村  
である北海道石狩市、長野県川上村、岡山県吉備  
町の特産品も販売されています。どのブースも盛  
況ですが、2017年から始まった村内のホテル  
による「リゾートカレーフエスタ」は、チケット  
がすぐ売り切れるほどの人気です。

2019年開催の第21回では、20を超える村内

企業や組合が協賛しま  
した。即売会はもちろん  
ん工芸体験やお仕事体  
験イベント、谷茶前節  
大会、フラワーアレ  
ンジメントのパフォー  
ムなど様々な催しも  
行われました。2日間  
で5千人近い来場者で  
賑わい、恩納村産業ま  
つりは村内外から多く  
の人が訪れる恩納村の  
代表的なイベントの一  
つとなっています。

次回は2020年2  
月8、9日に恩納村ふ  
れあい体験学習センタ  
ーで開催予定です。（仲  
村）

